



龍神LPP

地域塾による龍神村の資源を活かした山村活性化

上野山・梅田・上原・岩田・鈴木愛理・鈴木愛乃・長野・宮下

田辺市龍神村について/これまでの活動

田辺市龍神は古くから林業が盛んな地域であり、林業は主要産業として地域に根差しています。私たちはまず森林組合や木材市場を訪問し林業の生産から販売の現場を見学しました。また半農半林の生活を営む方に龍神での暮らしについてお聞きしたり、実際にチェーンソーを使ってみることで龍神のリアルを体験しました。そして龍神中学校でヒアリングを行い、龍神で暮らす子供たちの林業への意識を調査しました。

3年間の活動により森林がもたらす恩恵を発見できましたが、同時に後継者不足や獣害などの林業を取り巻く問題も明らかになりました。私たちはこれらの問題を解決するには地域愛と相互理解を深めることが重要だと考え「地域塾構想」を地域の方々に提案させていただきました。



事前学習/現地訪問

龍神村訪問にあたり8月に事前学習を学内にて行いました。和歌山県の職員の方をお招きして林業について学びを深めました。ここでは、林業がただ木を切り木材を作るだけではなく、特産林産物など森林の恵みがもたらす資源による収入があることも学びました。

また9月に一泊二日で行った現地訪問においては、実際に林業の作業の様子や特産林産物の生産の場などを見学させていただきました。言葉で聞くのとは違った林業の壮さや作業員の方の巧みな技にとても驚きました。龍神村には至る所で木材が使われており、本当に林業で成り立っている地域なのだと感じました。林家の方々や龍神村の森林に関わる方々はその仕事にとても誇りを持っているように見えました。



資源地図の作成

夏休みに行った龍神での現地訪問を振り返るため、メンバーで資源地図作成のワークショップを行いました。「学びの場としての龍神」をテーマに、各自が印象に残った場面の写真を持ち寄り、そこから得た学びや心に残った点を発表しました。同じ場面の写真であっても、着眼点や魅力の捉え方が人によって異なり、新たな気づきを得られたことがとても印象的でした。写真を選ぶのに悩みましたが、龍神の内側にある地域の方々のこだわりや熱い思いそして日々の大変さをより深く理解する機会になりました。ワークショップを通して、龍神の「資源」や「課題」、「魅力」が可視化され、現地訪問で得た学びを整理することができました。改めて龍神の温かさや人々の思いを実感できる、非常に有意義な時間となりました。

翔龍祭への参加

11月22日・23日に翔龍祭に参加させていただきました。

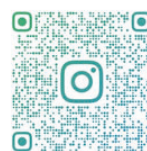
「わがらの山のくらし」をテーマに、森林資源と触れ合うことができるワークショップや地元の農産物や食品を販売するお店が立ち並びました。私たちは、組んで楽しむ木育ジャングルジムのブースで参加者の子どもたちのお手伝いをするスタッフをしました。小学生だけでなく、未就学児のお子様にも木と触れ合いながら遊んでもらうことができ、とても楽しかったです。また作成した資源地図を会場に展示し、足を運んだ方に見ていただきました。

さらに龍神村のゲストハウス「もんべとくわ」に宿泊したり、龍神温泉の元湯に行ったり、龍神村の新たな魅力に気づくことができました。



次年度に向けて

中高生を対象とした活動が極めて難しいことから、次年度以降の活動については検討を進めていきます。大学生を対象としたフィールドワークなども視野に龍神のことや和歌山県の林業について多くの人に知ってもらいたいです。



@RYUJINLPP_WAKAYAMA